



AGRICULTURE (篤農家) × AI

農業における活用事例

篤農家の栽培ノウハウをブレインモデル化

ブレインモデルを元に AI や IoT 技術を駆使した 新しい栽培手法を開発し、次世代農業を活性化させる

Solution \ 解決手段

背景 課題

篤農家の高齢化
若者の新規就農増加
法人農業ビジネスの進展

解決の方向性

栽培経験、観察視点の汎知化
新時代の働き方に合わせた「栽培プログラム」の開発
AI シミュレーションを活用した「病害等予測システム」の開発

必要なツール、AI 技術

栽培プラン作成への AI 活用
兆候発見、予防への AI 活用

Activity \ 活動内容

活動ステップ

篤農家からのヒアリング
経験則や観察視点の言語化（ブレインモデル構築）
AI アルゴリズムへの変換
AI システムの開発、業務適用

アウトプット

- ① ブレインモデル（教師データ）
- ② 環境特性解析システム（AI）
- ③ 画像診断システム（AI）

Expected Effect \ 期待効果 / 展開先

日本型農業の経験資産の知識化、共有

新規就農者の参画促進、農業ビジネスの活性化

「稼げる農業」へのイメージ転換、事業収益の確保

